

第223回 全経簿記検定試験 上級 ー 管理会計 ー 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計 50 点〕

問 1

A設備	① 〔 ④ 910,000 〕 円	② 〔 ④ 2,910,000 〕 円
B設備	① 〔 ④ 875,000 〕 円	② 〔 ④ 3,675,000 〕 円

問 2

A設備 〔 ④ 350,000 〕 円 製品B 〔 ④ 490,000 〕 円

問 3

〔 ④ 1,857,980 〕 円

計算過程

$2,910,000 \text{ 円} \times 3.993 + 350,000 \text{ 円} \times 0.681 - 10,000,000 \text{ 円} = 1,857,980 \text{ 円}$ ②

問 4 ②

結論：(A設備 B設備) を採用すべきである。() 内の適切なほうに○をする。

根拠 正味現在価値がB設備よりも、A設備の方が 850,015 円高いため。 ④

問 5 ②

結論：(A設備 B設備) を採用すべきである。() 内の適切なほうに○をする。

根拠 正味現在価値がA設備よりも、B設備の方が 72,368 円高いため。 ④

問 6

① 投下資本に対して要求される、利息や配当金などのコストである。 ④

② 加重平均資本コスト率を用いることが望ましい。 ④

問題2〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計50点〕

問1（単位：円）

予 算 損 益 計 算 書		
売 上 高	〔 ② 28,800,000 〕	
変 動 売 上 原 価	〔 ② 16,320,000 〕	
変 動 販 売 費	〔 ② 1,440,000 〕	
貢 献 利 益	〔 11,040,000 〕	
固 定 加 工 費	〔 7,200,000 〕	
固定販売費及び一般管理費	〔 1,200,000 〕	
営 業 利 益	〔 2,640,000 〕	

問2

〔 ④ 21,913,044 〕円

問3

〔 ④ 4.18 〕

意味： 売上高の増減に伴う営業利益の増減が大きいことを意味する。 ④

（別解）固定費の利用度が大きいことを意味する。

問4（単位：円） 不利な差異には△を付すこと

予 算 営 業 利 益	〔 2,640,000 〕	
売 上 高 差 異		
販 売 価 格 差 異	〔 ④ 460,000 〕	
販 売 数 量 差 異	〔 ④ △1,200,000 〕	〔 △ 740,000 〕
変 動 売 上 原 価 差 異		〔 86,600 〕
変 動 販 売 費 差 異		
予 算 差 異	〔 ④ 46,000 〕	
販 売 数 量 差 異	〔 ④ 60,000 〕	〔 106,000 〕
貢 献 利 益 差 異		〔 △ 547,400 〕
固 定 加 工 費 予 算 差 異		〔 ② △ 50,000 〕
固 定 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 予 算 差 異		〔 20,000 〕
実 際 営 業 利 益		〔 2,062,600 〕

問5 不利な差異には△を付すこと

総需要量差異〔 ④ △ 4,800,000 〕円 市場占有率差異〔 ④ 3,600,000 〕円

問6

予算には、目標を数値化し行動指針を示す「計画機能」、全社最適に向けて部門間の活動や利害をすり合わせる「調整機能」、予算と実績を比較し、業務の評価や改善を行う「統制機能」がある。⑥